

明日をになう子のために

第73号 令和5年4月 上三川町教育委員会

上三川町教育委員会では、子どもたちの「差別は絶対にいけない」「自分も相手も大切にしよう」という気持ちを育てていくとともに、子どもたちが、いつでも、どこでも、誰に対しても、偏見や差別のない言動が出来るよう、人権教育の積極的な推進に取り組んでいます。

さまざまな人権問題について、ご家庭で話し合いの時間をつくっていただけると幸いです。



同和問題と人権

同和問題は、日本固有の人権問題です。歴史の過程で形づくられた身分差別により、国民の一部の人々は長年にわたり不合理な差別を受けてきました。国や地方公共団体はさまざまな対策を講じましたが、未だに差別的な言動や結婚を妨げるなどの人権侵害が起きています。同和問題の解決にむけ、正しい理解と差別意識をなくす取り組みが求められています。

女性の人権

「男は仕事、女は家庭」といった男女の役割を固定的に捉える意識が社会に根強く残っており、家庭や職場において、さまざまな男女差別を生む原因となっています。

子どもの人権

子どもにも一人の人間として人権があります。しかし、いじめや体罰に苦しんでいたたり、親からの虐待やネグレクト（育児放棄）などが起きたり、子どもが被害者となる事件が起きています。

障がいのある人の人権

障がいがあることを理由とした就職差別、賃金による差別など、障がいのある人の自立と社会参加がはばまれています。



高齢者の人権

人は何歳になっても生きがいをもって生活したいと願っています。しかし、就職差別や、家族や介護者による虐待、預貯金などを無断で処分するなど、人権侵害が社会問題となっています。

外国人の人権

言語・宗教・生活習慣等の違いから、外国人の就労に際しての差別や、アパートへの入居拒否などの問題が生じています。外国人の生活習慣等を理解・尊重していくことが大切です。

HIV感染者やハンセン病元患者の人たちの人権

HIV ウイルスやハンセン病について正しく理解されていないために、学校、職場などで差別されることがあります。



インターネットによる人権侵害

匿名による書き込みが可能なことを悪用し、プライバシーを侵害したり、差別につながるような表現が使われるなどの問題が数多く起きています。



その他の人権問題

アイヌの人々、犯罪被害者とその家族、刑を終えて出所した人、性的指向・性自認にかかわる人権問題、新型コロナウイルス感染症に関連した人権問題、災害に伴う人権問題、ホームレス等生活困窮者にかかわる人権問題、北朝鮮当局による拉致問題など…

◇明治小学校での取り組み（５年生）



道徳科 誰に対しても思いやりの心を 「ノンステップバスでのできごと」

この授業では、身近にあるバリアフリーについて、使っている人の思いや使われ方をそれぞれの立場に立って考えました。思いやりのある言動が、本当のバリアフリーにつながることを学びました。児童は、相手の立場に立って真剣に考え、誰に対しても思いやりの心をもつことが大切であることを授業を通して気付きました。

「人権教育に関わるアンケート」の集計結果報告 ー第２回ー

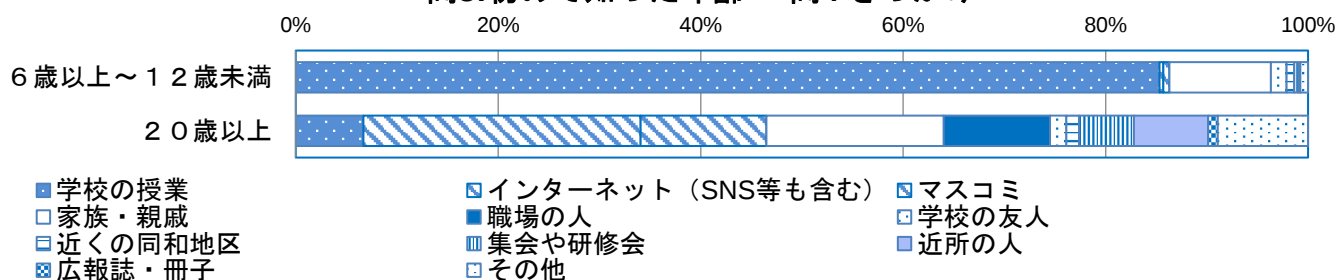
上三川町では、５年に一度、人権教育に関わるアンケートを実施しております。昨年は、その実施の年に当たり、９月にアンケートを実施しました。昨年１２月に発行しました第７２号では、アンケート結果の１回目の報告をさせていただきました。今回、２回目の報告をさせていただきます。

設問３：同和地区や同和問題を初めて知ったのはいつごろか。

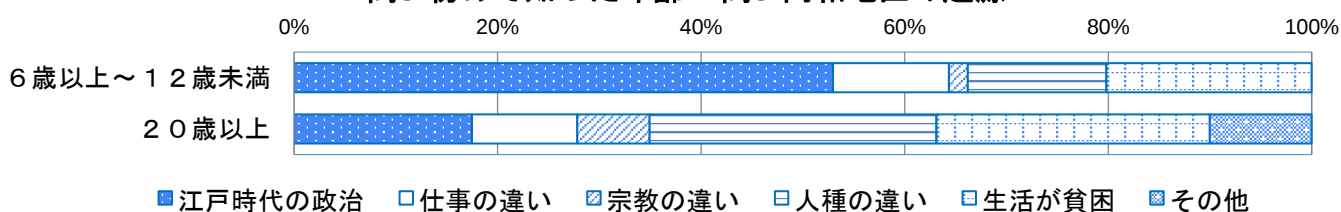
設問４：同和地区や同和問題を初めて知ったきっかけは何か。

設問５：同和地区の起源について、どのように受け止めているか。

問3:初めて知った年齢 × 問4 きっかけ



問3:初めて知った年齢 × 問5:同和地区の起源



◇アンケート結果から

「初めて知ったのはいつごろか」をもとに分析した結果、「同和地区や同和問題を知ったきっかけは何か」への回答では、「6歳以上～12歳未満」では「学校の授業」(85.3%)が最も多いのに対して、「20歳以上」では「インターネット」と「マスコミ」という外部からの情報(39.2%)が最も多くなっています。さらに、「同和地区の起源をどう受け止めているか」では、「20歳以上」で初めて知った方の回答は、正しい起源である「江戸時代の政治」と回答した割合が少ないという現状が浮き彫りになりました。

上三川町教育委員会では、今後も同和問題への正しい理解に向けての啓発を継続するとともに、様々な人権課題への取組を進めて参ります。

保護者の皆様、アンケートへの御協力、大変ありがとうございました。